

下僕よ
ミルクの
時間だぞ。



んっ…♡

んっ…♡

あれから…ネメシスは
オシの部屋にフリスケ
やって来るようになった

そしてまるで…猫が
ミルクをねだるような
気軽さでオシを押し倒し
気ままに帰っていく

フクロもフリッフリ…♡
どうやら私の言い付け通り
しっかりと濡め込んで
いるようだな

んっ…♡

今日はいつもより
チンポが大きいな…？
けほく…♡

うあ…っ
口に入れたまま
しゃべらないで…っ！
声が…響く…っ

良い心がけだ
お前もようやく
下僕としての立場が
わかってきたか？

うう…あアツ
ネメシス…っ

お 俺は別に…
下僕になった訳じゃ…

うああツ！！

まだ早いぞ 我慢しろ
イクのは主である
私の許可が出てからだ
それまでは許さん

フフッ…いいぞ
おあずけをくらった
その表情…

怯える
小動物のようだ
抱きしめたく
なるほどに
愛おしいな…♡

そんなネメシスに
振り回されながらも
オシは どんどん彼女が
愛おしくなっていくって…

ネメシスは一瞬だけ
驚いた顔をして
それからまたいつもの
ネメシスに戻った

結局 ネメシスの本心は
わからないままで…
オシのJJ
とっと思ひゆるんだわ…

ほう…♡次は
お前の番だよ

主に甲装甲装しく
奉仕してみせろ♡

んっ…♡

ああ…♡

んんっ…♡
クリを吸う…
ときは…

そっ…いいよ♡
皮も剥いて…
んっ…♡ ああ…♡

少し弱めが…
私は好きだよ…♡

ふあ…あ♡

んっ…♡

んっ…♡

い…いい♡
結城リト…♡

舌の使い方が…
また一段と上手く
なったではないか…♡

女性器の扱いにも
慣れてきているな
女で練習でもしたか…？

ネ…ネメシスと
だけでよ！
こういうこと
するのは…！！

ほう…するとお前の
知っている女性器は
私のここだけなのだ

フフツ
悪くないぞ
下僕

お前が知っている
マンコの感触が
私だけというのは

えっ...?

わっ...わわっ!?

ほら お前の重貞を
奪ったマンコだ
小さいがよく伸びるぞ?

相変わらずお前は
カウパーが多いな♥
戻った皮もついでに
剥いておいてやろう

うあ...あッ!
先っぽ
いじらないで!!!

今日はちよっと...
私も興奮
しているからな...
簡単に...ンンッ♥

ああ...♥この
最初の挿入でチンポに
広げられる感触...
最高だ...♥

お前が唯一知る
マンコの感触は...♥
気持ちいいか...?

そう...だ...?

ネメシスの臍内...
いつもぬいぬいして♡

温かい...!!



はっ…♡♡♡♡♡
相変わらずさっ
お前のモノは
なかなか
凶悪だな…♡

気を抜けば…
私も即座に
イッてしまい
そうだな…♡♡



ま…待ってっ
そんな動かないで
ネメシス…っ!

オレ…ずっと
溜めてたから
もう…っ!!

確かに…時々
チンポがふわっと
太くなって
いかにもイキそうだな
だがまだ射精は
許可してないぞ?
私がいいと言うまでは
必死で耐えろ



フフ…♡ お前とは
いろいろ試したが…
やはりこの体位が
一番好きだな…♡

チンポが
奥まで入ったのが
実感できるし…

何より お前の
可愛いイキ顔が上から
じっくり見られる…♡

ひっ♡ん♡
太い…っ♡ お前が
我慢すればするほど
太くなっ♡て…♡

私の臍内を
ゴリゴリこするっ♡
形が変わるくらい…
マンコが広げられてるっ♡

私が筆おろししてやった
皮かぶり気味の
童貞千んポ…
こんなにイイとはな♡

ネメシス…ッ!!
ホントにダメだって
もう出る…ッ!!

ダメだ許さん♡
私が好きならもう少し
我慢してみせろ♡

ひっ♡ん♡ 千んポの
この反り返りっ♡
私の弱点ばかり
こすっ♡てる…♡

あ♡♡あ♡♡あ♡♡
いい♡いい♡いい♡
頭がおかしくなあ♡♡
ダメだっ 私ももう…♡

うああああッ!!
髪の毛で締めて…っ!!?

いい…っ♡ 許可するっ♡
お前が溜めた精液全てを
私の十力に注ぎ込め…♡

きたっ♥千本ボが
おっへんらんらんぞっ♥

んっ♥精子っ♥
子宮口で遊ばせろっ♥

あ♥あ♥
私も…っ

精子当てられて…
イ…クっ♥

うああっ 出る…っ
ネメシス…ッ!!

おっへんらんらんぞっ♥



ふぁ♡♡♡♡♡
精子が膣で
収まりきらずなぐり…
下口下口の
あふれ出しちゃうわ…

こんなにも
溜めていたのだな…
お前は…♡

…ん？ なんだ
快感が強すぎて
気を失ったか

私のナカは
それほどまでに
良かったか…？
フツ♡

しかし…
私の想いの在処を
ずっと気にしている
ようだが

あれだけして
まだわからんのか…
本当に察しの
悪い下僕だ

お前には
まだまだ調教の必要が
ありそうだな♡